

# 小学校 外国語活動・外国語

## 事例 1

5 学年 「Where is the post office?～外国の人に地域のお気に入りスポットを紹介しよう～」

本時のねらい：地域に初めて来た人に、自分のお気に入りスポットを紹介し、案内するために、おすすめしたいことなどについて、友達と伝え合うことができる。

### 自身の英語表現を深めるための方法を自ら選択し、発話に生かす

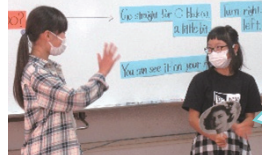
○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・ 1 回目のやり取りで、「魅力を上手く伝えられなかった。」と振り返った児童が、他の児童の紹介を聞いて加えたい表現に気付き、ICTを活用して自ら表現を確認し、自分の紹介に生かそうとする姿

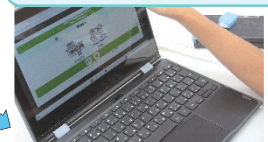


自身の英語表現を深めるために、各自で ICT を活用

こんな姿を引き出すために…  
**ICT の活用**



代表児童のやり取りを、自分の紹介と比較しながら聞く。



本時のねらいを達成するために、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確にした上で、伝える内容や伝え方について、言語活動を通して、児童が思考する時間を設けた。①デジタル教科書②学習者用ソフト（指導者が ALT と協力して作成した単元の語句や表現を音声とともに確認できるもの）③Google 検索④毎時間、書き溜めてきたワークシート等の中から、自身の表現をより深めるために必要な方法を児童自らが選択し、後半のやり取りに生かすことができた。

## 事例 2

5 学年 「I want to go to Italy. ～甲州市のベストスポットを紹介しよう！～」

本時のねらい：甲州市に来たばかりの ALT の先生に、甲州市のベストスポットを紹介するために、そこできるとことや選んだ理由について、内容を整理した上で、伝えることができる。

### 個別学習と協働学習を繰り返しながら、話す力を高める指導の工夫

○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・ ALT が「行ってみたい。」と思えるような紹介にするために、指導者のデモや中間指導における友達の発表から着想を得て、学び方を自己選択し、工夫して自分の思いや考えを伝えようとする姿



思考の過程を可視化

こんな姿を引き出すために…  
**学習過程の工夫**



Aコース



Bコース



Cコース

前時に「ALT の先生が行ってみたいと思えるような紹介をしたい。」と記述した児童の学習感想を基に、どのような紹介がよいのかを考え、思い思いの工夫を取り入れる活動を行った。授業の前半に、指導者のやり取りから工夫の視点を捉えさせ、3つのコース（「自分で」「友達と」「先生と」）の中から、児童が学習方法を選択し、思考する時間を設けた。児童は、各コースで学習を進める中で、取り入れたいと思った語句や表現、中間指導において、他の児童の発表から学んだことを思考ツール（Jamboard）に記入し、情報を整理しながら、自身の発表をよりよくする工夫に挑戦し続けた。

# 中学校 外国語

## 事例 1

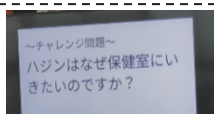
### 1 学年 This Is Our School ( Here We Go English Course 1 )

本時の目標：エイムズ市の中学生に、自分の学校のおすすめの場所（教室や施設）を詳しく知ってもらうために、ビデオメッセージで紹介することができる。

## 生徒が自ら学び取った方法でパフォーマンスを改善する授業

### ○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・エイムズ市の中学生について理解を深め、相手に合ったビデオメッセージを作成するために、学習者用デジタル教科書の内容や表現を抽出したり、友達のビデオを視聴したりして、生徒が自らパフォーマンスを改善しようとする姿



- ・個に応じた課題設定



- ・個人のペースでリスニング
- ・スクリプトも紹介に生かす



- ・友達の動画を視聴し、自分のパフォーマンスを改善

- ① 帯活動で中学校のおすすめの場所についてやり取りをし、中間指導で内容と表現を改善した。
- ② Classroom にエイムズ市の中学生を意識できるような ウェブサイトのリンクや写真を用意した。
- ③ 生徒が自ら、学習者用デジタル教科書の本文からビデオメッセージに使いそうな表現や語彙に線を引いたり、動画やリスニング教材などを見たり聞いたりする時間を設定した。
- ④ ペアで録画したビデオを見て内容・表現・態度面でアドバイスをし、ブラッシュアップを行った。

## 事例 2

### 3 学年 The Story of Chocolate ( SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 )

本時の目標：元々チョコレートがどのように使われていたのか、物語の概要や要点を捉え、まとめたメモを基に要約文を書くことができる。

## 課題設定の工夫と目的・場面・状況に応じた「読むこと」の指導

### ○本実践で見られた自ら学びを調整しようとする姿

- ・単元終末のパフォーマンステストに向けて本文の要約をするために、全体で一斉に読む時間と、個別に本文と向き合う時間を行き来するなかで、生徒は自らの学習レベルに応じて、デジタル教科書の機能を選択し、概要・要点を捉えようとする姿



- ・字幕付き動画を視聴し、概要を捉える姿
- ・グループで要約文を共有



- ① パフォーマンステストを ループリック とともに、単元のはじめに提示し、見通しをもたせた。テストでは、前版の教科書本文（野菜の歴史）を読み、概要・要点を捉え、要約と感想を伝えた。
- ② 毎回の授業で、要約文を書くために教科書本文を読むという目的意識をもたせ、活動を行った。
- ③ 事前にリーディングポイントを示し、個別にデジタル教科書を使って読む時間を設定した。字幕付き動画を見たり、音声と一緒に本文を読んだりして、生徒は 自分に合った読み方を選択した。
- ④ 個別に読んだ後、自分の理解と友達の考えを比較検討することで、生徒は 要約文を改善した。